



トリビュート[®]
OD

除草剤

芝用

スズメノカタビラにピリオド

目立ちたがり^屋を封じ込め。





トリビュート[®]
OD

除草剤

芝用

しつこいスズメノカタビラを一掃。
美しいターフを提供します。

日本初、OD製剤。

有効成分を油に分散し、
散布時の展着力を高めます。
天候不順にも強く、より良い保持力、
より良い吸収を促します。

製品特長

- 1 晩秋散布で枯殺し、不効、再生個体を少なく。
- 2 低温期でも素早く生育をストップ、枯死へ。
- 3 春期の大型スズメノカタビラも一掃。

- 低温期処理、株化(分けつ)した個体にも安定した効果を発揮し、補正散布の手間、コストの削減に大きく貢献します。
- 推奨使用期間では、日本芝に比較的高い安全性を有しますので、安心して使用できます。

スズメノカタビラを防除しきれない主な理由

生態変化

- 変異性に富み、多種多様
- 多年生個体の増加
- 気温上昇に伴う発芽適温の拡大
- 生育形態の特徴

気象条件

- 温暖化(残効切れ、冬季発芽)
- 乾燥
- 集中豪雨
- 冷夏、暖冬

作業・管理

- 適期散布の逸脱
- 刈込み、施肥、更新作業の変化
- サッチの堆積 ● コスト削減
- 散布方法

薬剤

- 投下薬量、種類、回数減少
- 処理適期幅の縮小 ● 残効切れ
- 土壌吸着の強い剤 ● 単剤施用
- 枯殺力の低下

多くの要因が複雑に絡み合っている。



早春に目立つスズメノカタビラは、土壌処理剤等の残効切れ後に発芽した個体ではなく、
秋に取りこぼし、再生した個体の可能性があります。

晩秋散布で確実に枯殺することが重要です。

スズメノカタビラに卓効

殺草スペクトラム

| 科名 | 和名 | 薬量 (mℓ/m ²) | | | 科名 | 和名 | 薬量 (mℓ/m ²) | | |
|-------|-----------|-------------------------|------|------|---------|-----------|-------------------------|------|------|
| | | 0.15 | 0.20 | 0.25 | | | 0.15 | 0.20 | 0.25 |
| イネ科 | メヒシバ | ○ | ◎ | ● | ナデシコ科 | ハコベ | ● | ● | ● |
| | スズメノカタビラ | ● | ● | ● | | オランダミミナグサ | ● | ● | ● |
| | エノコログサ | ◎ | ● | ● | | ツメクサ | ○ | ○ | ◎ |
| | シマスズメノヒエ | ○ | ○ | ◎ | ゴマハグサ科 | タチヌノフグリ | △ | ○ | ○ |
| キク科 | ヒメムカシヨモギ | ○ | ○ | ◎ | トウダイグサ科 | コニシクソウ | △ | ○ | ○ |
| | ウラジロチチコグサ | ○ | ○ | ◎ | シソ科 | ホトケノザ | ● | ● | ● |
| | マメカミツレ | △ | ○ | ○ | マメ科 | シロツメクサ | ○ | ◎ | ◎ |
| | セイヨウタンポポ | △ | ○ | ○ | セリ科 | チドメグサ | ◎ | ◎ | ● |
| アブラナ科 | ナスナ | ○ | ◎ | ◎ | カタバミ科 | カタバミ | △ | ○ | ○ |
| | タネツケバナ | ◎ | ● | ● | | | | | |

平成19、20年度度日輪調査委託試験および社内試験より

●(完全枯殺) ◎(効果大) ○(効果中) △(効果不十分) ×(効果なし)

日本芝に対する安全性

| | 処理日 | 調査日 | 薬量 (mℓ/m ²) | |
|--------|----------------|------------|-------------------------|-----|
| | | | 0.25 | 0.5 |
| コウライシバ | 茨城県 2009 4/13 | 2009 5/18 | 無 | 無 |
| | 埼玉県 2008 10/9 | 2008 10/25 | 無 | 微 |
| | 福岡県 2008 10/31 | 2008 11/15 | 無 | 無 |
| ノシバ | 埼玉県 2008 4/12 | 2008 8/16 | 無 | 無 |
| | 福島県 2008 10/16 | 2008 11/10 | 無 | 無 |
| | 福岡県 2008 10/31 | 2008 11/15 | 無 | 無 |

表示方法: 薬害程度を大、中、小、微、無で表示

コウライシバおよびノシバに対して登録最高薬量 (0.25mℓ/m²) では、いずれの散布時期においても薬害は見られませんが、登録最高薬量の2倍量では、10月散布により一時的な異化が見られる例がありました。試験を解析しますと、散布日直後に最高気温が25℃以上まで上昇していることがわかりました。



最高気温が25℃以上となる日(前後)の散布は控えてください。

スズメノカタビラに対する除草効果

生育ステージが進んだスズメノカタビラまで枯殺

| | 3葉期 | 5葉期 | 分けつ始め | 分けつ期 | 出穂期 |
|-----------|------------------------|-----|-------|------|-----|
| トリビュート OD | 0.15mℓ/m ² | | | | |
| | 0.2mℓ/m ² | | | | |
| | 0.25mℓ/m ² | | | | |
| F剤 | 0.005g/m ² | | | | |
| G剤 | 0.0045g/m ² | | | | |
| H剤 | 0.02g/m ² | | | | |

11月～4月までの社内試験事例より作成

スズメノカタビラに対する殺草スピード

| | トリビュート OD | I 剤 | J 剤 |
|---------|----------------------|------------------------|----------------------|
| 無処理区 | 0.2mℓ/m ² | 0.0045g/m ² | 0.5mℓ/m ² |
| 散布 21日後 | | | |
| 散布 28日後 | | | |

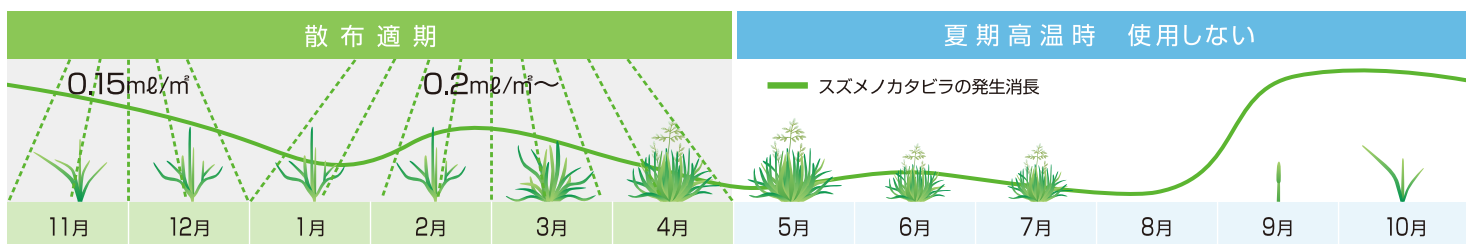
ガラス温室、生育初期時散布(社内試験)

スズメノカタビラに対する除草効果

| | | | |
|---------|--------------------------|---------------------------|-----------------------|
| 無処理 | 0.2mℓ/m ² | 0.25mℓ/m ² | 春期の大型スズメノカタビラを 防除。 |
| | A 剤 | B 剤 | |

試験場所: 神奈川県Aゴルフ場
対象雑草: スズメノカタビラ(出穂期)
散布日: 2011年3月9日
調査日: 2011年4月22日 社内試験

上手な使い方



ベントグリーンから50ヤード以上離して使用してください。



トリビュート[®]
OD

除草剤
芝用

農林水産省登録
第22918号

適用と使用方法

| 作物名 | 適用雑草名 | 使用時期 | 使用量 | | 本剤の使用回数 | 使用方法 | 本剤およびホラムスルフロンを含む農薬の総使用回数 |
|-------------------|------------------|-------------------------|-------------------|------------------|---------|------------|--------------------------|
| | | | 薬量 | 希釈水量 | | | |
| 日本芝 | 一年生雑草 多年生広葉雑草 | 春夏期芝生育期 (雑草発生初期～生育期) | 200～250 ml/10a | 100～200 ℓ/10a | 3回以内 | 雑草茎葉 散布 | 3回以内 |
| | | 秋冬期芝生育期 (雑草発生初期～生育期) | 150～250 ml/10a | | | | |
| | スズメノヒエ類 チガヤ | 春夏期芝生育期 (雑草生育期) | 200～300 ml/10a | | | | |
| 西洋芝 (パーミュダグラス) | 一年生雑草 多年生広葉雑草 | 春夏期芝生育期 (雑草発生初期～生育期) | 200～250 ml/10a | 100～200 ℓ/10a | 3回以内 | 雑草茎葉 散布 | 3回以内 |
| | | 秋冬期芝生育期 (雑草発生初期～生育期) | 150～250 ml/10a | | | | |

有効成分と性状

| | |
|------------|--|
| 種類 | ホラムスルフロン水和剤 |
| 有効成分および含有量 | ホラムスルフロン・・・2.2% 1-(4,6-ジメチルキシピリミジン-2-イル)-3-[2-(ジメチルカルバモイル)-5-ホルムアミドフェニルスルホニル]尿素 |
| 性状 | 淡黄色水性和粘稠懸濁液体 |
| 荷姿 | 1ℓ×6本 |
| 消防法 | 危険物 第4類 第3石油類 |

人畜・魚介類に対する安全性(製剤)

| | | | |
|-------------|----------------|---------|-------------------------------------|
| 人畜毒性 | 経口 | ラット(♀) | LD ₅₀ > 2,000mg/kg |
| | 経皮 | ラット(♂♀) | LD ₅₀ > 2,000mg/kg |
| | 皮膚刺激性 | | 軽度刺激性あり |
| 水産動植物に対する影響 | 眼刺激性 | | 軽度刺激性あり |
| | コイ | | LC ₅₀ 26.8mg/ℓ (96hr) |
| | オオミジンコ(急性遊泳阻害) | | EC ₅₀ 1.48mg/ℓ (48hr) |
| | 藻類生長阻害(緑藻) | | ErC ₅₀ 8.95mg/ℓ (0-72hr) |

⚠ 効果・薬害等の注意事項

- 使用前に容器をよく振ってください。
- 一年生イネ科雑草を対象とする場合には、その生育期(6葉期まで)に有効なので、時期を失しないように均一に散布してください。
- 寒地型西洋芝(バントグラス、ブルーグラス、ライグラス)では薬害を生じるので飛散しないよう注意して散布してください。特に、寒地型西洋芝を使用しているグリーンやティーランド周辺では使用しないでください。
- 本剤の使用により、日本芝に黄変などが生じることがありますが、1～2週間で回復し、その後生育には影響を与えません。
- その日の天候に留意し、降雨が予想される時には使用を避けてください。
- 散布に用いた器具類は、使用後できるだけ早く水で十分洗浄し、他の用途に使用する場合は薬害の原因にならないよう注意してください。
- 使用量、使用時期、使用方法を守り、特に初めて使用する場合は、病害虫防除等関係機関の指導を受けてください。

⚠ 貯蔵上の注意事項

- 密栓し、火気や直射日光を避け、食品と区別して、冷涼な場所に保管してください。

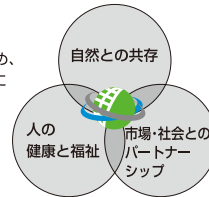
⚠ 安全使用上の注意事項

- 誤飲などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合は吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。
- 眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗いしてください。
- 皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 散布時は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗うがいをしてください。
- 公園等で使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中および散布後(最小限その当日)に関係者以外は立ち入らせないようにしてください。小児、人畜等に留意してください。
- 火災時は適切な保護具を着用し、消火剤等で消火を行ってください。
- 漏出時は保護具を着用し、布・砂等に吸収させ回収してください。
- 移送取り扱いは、ていねいに行ってください。
- 飲めません。
- 有効年月内に使用してください。
- 体調の悪いとき、妊娠中、飲酒後等は取扱い及び作業をしないでください。



バイエルクロップサイエンスでは、将来の世代のニーズを損なうことなく、現代のニーズを満たす、「持続可能な発展」のため、Protecting Tomorrow ... Todayをモットーに

- ① 人の健康と福祉
 - ② 自然との共存
 - ③ 市場・社会とのパートナーシップ
- を柱として様々な活動を実施しています。



トリビュートODは、

- 幅広い雑草を防除し芝の健康を維持することで、二酸化炭素の吸収・固定に貢献します。
- 美しい芝を提供することで、ゴルフプレーヤーに快適なプレー環境を提供します。
- 扱いやすいOD製剤で作業者の安全に配慮しています。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載内容以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。



Bayer

バイエルクロップサイエンス株式会社
エンバイロサイエンス事業本部

〒100-8262 東京都千代田区丸の内1-6-5
【お客様相談室】0120-575-078

詳しくはこちらへ www.es.bayer.jp 検索

お問い合わせ先